



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3504		
科目名	大規模事故論		
担当教員	中林 啓修		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 1		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	災害マネジメント領域		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 〔DP1-E〕学識・専門技能 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 〔DP4-I〕理解力・分析力 文章表現，数値データを適切に扱いつつ，情報の収集と取捨選択，分析と加工を有効かつ円滑に行い，課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識－10％ E1学識と専門技能－50％ G1状況把握－10％ I1理解・分析と読解－30％		
教員の実務経験	民間シンクタンクにて、核セキュリティに関する多様な業務に従事したほか、福島原発事故独立検証委員会のワーキンググループメンバーおよび、国会東京電力福島第一原子力発電所事故検証委員会の事務許可調査員として福島原発事故の検証に従事した。また、沖縄県知事公室地域安全政策課において米軍機事故の対応に従事した。本講義ではこれらの経験を生かし、事例の背景や対応の経緯などをも含めて講義する（2-14回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進行機～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	高度な科学技術に支えられた現代社会は、利便性の高まりと同時に、事故やトラブルの複雑化、深刻化にも直面している。本講義では、これら社会の高度化と不可分の関係にある大規模事故のリスクについて、理論面及び事例から、発生の背景や事故後の再発防止策あるいは関連法制度なども含めて多角的な検討をするために必要な知識や視点を身につける。特に影響の大きい低頻度高強度事案に着目する。授業形態は講義により行うが、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合がある。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示する。 ■キーワード：低頻度高強度事案、原子力事故、航空機事故、大規模なライフライン停止		
授業の趣旨	■副題 低頻度高強度事案の防止と対策 ■授業の目的 原子力事故や航空機事故など、発生頻度は低いが、一度発生すると大な被害や影響を与える事案を中心に、大規模事故の背景や防止策、発生後の対応や再発防止策など大規模事故に関する多角的検討を行えるだけの知識や視点を得る。 ■授業のポイント		

	本授業では、日航ジャンボ機墜落事故や東京電力福島第一原子力発電所事故、沖縄国際大学での米軍機墜落事故など、低頻度だが被害や社会的影響が極めて大きい事故を事例として取り扱いつつ、事故発生背景や予防策、応急対策、事後対応など、大規模事故に関連する一連の社会的活動を取り扱う。												
総合到達目標	低頻度だが被害や社会的影響が極めて大きい大規模事故について、予防・応急対策・事後対応といった一連の社会的活動を理解し、事故の未然防止/再発防止に資する知識や視点を獲得する。												
成績評価方法	■小テスト：14回（70%） 第2回以降、毎回授業時間内に小テストを行う。 小テスト後、当日の内容復習として簡単な解説を行う。 ＜適用ルーブリック＞ E1学識と専門技能 I1理解・分析と読解 ■レポート：2回（予定）（30%） 第5回の授業後および第14回の授業後に2000字程度のレポートを課す。第6回冒頭および第15回冒頭で良好だった内容や留意すべき内容などを解説する。 ＜適用ルーブリック＞ C1倫理的思考・社会認識 E1学識と専門技能 G1状況把握 I1理解・分析と読解 ■（適用ルーブリック-割合） E1（35%）、C1（15%）、I1（35%）、G1（15%）												
履修条件	特になし。												
履修上の注意点	授業中は、私語など他の学生の学修の妨げになる行為をしないこと。そうした行為があった場合には注意し、改善しない場合は退席を促すことがある。												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①テーマ オリエンテーション ②概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。 ③予習（120分） 興味のある大規模事故の事例について調べてくる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①テーマ 事故とその関連概念 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、事故とその関連概念について議論する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 何を持って大規模事故というのか、考えてみる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①テーマ 大規模事故の発生要因と予防策 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野での大規模事故の発生要因とその予防策について本講義で取り扱う事例の紹介を兼ねて概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故の発生がどのような要因によるものなのか、またその予防策としてどのようなことが取り組まれているのか調べる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①テーマ 大規模事故発生時の応急対策 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野における大規模事故発生時の応急対策について概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故が発生した場合、どのような応急対策が取られるのかについて調べる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①テーマ 大規模事故発生後の対応 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野における大規模事故発生後の対応（賠償・補償や被害回復、再発防止など）について概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故が発生したのちに行われる事後対応がどのようなものか調べる。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①テーマ オリエンテーション ②概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。 ③予習（120分） 興味のある大規模事故の事例について調べてくる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。	2	①テーマ 事故とその関連概念 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、事故とその関連概念について議論する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 何を持って大規模事故というのか、考えてみる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。	3	①テーマ 大規模事故の発生要因と予防策 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野での大規模事故の発生要因とその予防策について本講義で取り扱う事例の紹介を兼ねて概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故の発生がどのような要因によるものなのか、またその予防策としてどのようなことが取り組まれているのか調べる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。	4	①テーマ 大規模事故発生時の応急対策 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野における大規模事故発生時の応急対策について概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故が発生した場合、どのような応急対策が取られるのかについて調べる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。	5	①テーマ 大規模事故発生後の対応 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野における大規模事故発生後の対応（賠償・補償や被害回復、再発防止など）について概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故が発生したのちに行われる事後対応がどのようなものか調べる。
回	内容												
1	①テーマ オリエンテーション ②概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。 ③予習（120分） 興味のある大規模事故の事例について調べてくる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。												
2	①テーマ 事故とその関連概念 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、事故とその関連概念について議論する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 何を持って大規模事故というのか、考えてみる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。												
3	①テーマ 大規模事故の発生要因と予防策 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野での大規模事故の発生要因とその予防策について本講義で取り扱う事例の紹介を兼ねて概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故の発生がどのような要因によるものなのか、またその予防策としてどのようなことが取り組まれているのか調べる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。												
4	①テーマ 大規模事故発生時の応急対策 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野における大規模事故発生時の応急対策について概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故が発生した場合、どのような応急対策が取られるのかについて調べる。 ④復習（120分） 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。												
5	①テーマ 大規模事故発生後の対応 ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、さまざまな分野における大規模事故発生後の対応（賠償・補償や被害回復、再発防止など）について概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故や航空機事故が発生したのちに行われる事後対応がどのようなものか調べる。												

	④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
6	①テーマ 大規模事故をめぐる日本の制度(1) ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、原子力事故をめぐる日本の関連制度を概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分） 原子力事故予防や対応、事後対策がどのような制度に基づいて行われているか調べる。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
7	①テーマ 大規模事故の事例(1) ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、大規模事故の事例として、福島第一原子力発電所事故を概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）福島第一原子力発電所事故について調べ、自身の関心がある分野がどこかを考え、その内容を確認しておく。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
8	①テーマ 大規模事故をめぐる日本の制度(2) ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、民間の航空機事故をめぐる日本の関連制度を概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）航空機事故の予防や対応、事後対策がどのような制度に基づいて行われているか調べる。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
9	①テーマ 大規模事故の事例(2) ②概要 大規模事故の事例として、日航ジャンボ機墜落事故を中心に日本国内で発生した民間航空機事故について、事故の原因、被害とその影響などについて概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）日航ジャンボ機墜落事故について調べておく。その他、自身の関心のある航空機事故について調べておく。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
10	①テーマ 大規模事故をめぐる日本の制度(3) ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、政治的影響の大きい自衛隊機や米軍機の事故をめぐる関連制度を概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）軍用航空機事故の予防や対応、事後対策がどのような制度に基づいて行われているか調べる。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
11	①テーマ 大規模事故の事例(3) ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、1975年のファントム戦闘機墜落事故や2004年の沖縄国際大学でのヘリ墜落事故を中心に、米軍機や自衛隊機による事故の事例を概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）日本国内で発生する軍用機事故の事例について調べておく。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
12	①テーマ 大規模事故をめぐる日本の制度(4) ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、原子力発電を除くライフラインの安全確保についての日本の制度を概観する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）電力や上水道の供給や不慮の事故に関する制度にはどのようなものがあるか調べておく。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
13	①テーマ 大規模事故の事例(4) ②概要 担当教員の実務経験を踏まえ、ライフラインの大規模停止事例（自然災害に起因する複合的災害を含む。ただし本回までに扱った事例を除く）について概観していく。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）大規模停電など、ライフライン停止がもたらす影響について調べておく。④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
14	①テーマ 大規模事故対策の課題 ②概要 これまでの講義を踏まえて、社会の高度化・複雑化を踏まえた大規模事故対策

	の展望と課題を検討する。＜C1,E1,G1,I1＞ ③予習（120分）これまでの講義内容について復習してください。 ④復習（120分）講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめる。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載する。
	15 ①　まとめ ②　講義内容全体を振り返りまとめとして重要事項を再確認する。
関連科目	RMGT3501災害対策論、RMGT3401災害と法、RMGT3402事故責任法制、RMGT3509災害史と関連している。
教科書	毎回授業資料を配布する。
参考書・参考URL	毎回の授業資料で示す。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知する ■オフィスアワー：開講時に告知する
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント40%；パブリックセキュリティ40%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

